

しんろだより

No. 15 令和8年2月27日発行
京都府立南山城支援学校
進路指導部

選択・決定

生活していく上で選択や決定をしていく場面はたくさんあります。特に自分の将来ややりたいこと等、進路に関する分野での選択や決定はとても大切です。

ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、令和7年10月より「就労選択支援」という就労系の障害福祉サービスが始まりました。これは「障害者本人が就労先や働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性等に向き合った選択を支援する」といった内容になります。大切なことは、アセスメントを通してサービスを利用した者自身が選択・決定していくという点です。これは障害のある方の意思決定支援を大切にしています。



先日ある福祉事業所の方が「我々は利用者の意思決定支援を大切にしています。学生の皆さんも今のうちから、意思決定のやり方や経験をたくさん身に付けてほしいです」とおっしゃっていました。

学校生活でも選ぶ・決めるという場面はたくさんあります。「食べたい物を選ぶ」「やりたい遊びを決める」「好きな色を選んで工作をする」等です。また、選択・決定の方法もさまざまです。「2つのうちの1つを選ぶ」「たくさんの中から複数個を選ぶ」「苦手な物を省いて残った物に決める」等があります。選択・決定の手段や経験をたくさん身に付けて、自分の卒業後の進路選択や進路決定につなげていってもらえたらと思います。